

トルコ為替週報

2023年5月23日 | みずほ銀行欧州資金部

<過去1週間の動き>

(5月16日～5月22日)

USD/TRY: 19.6421～20.6588

TRY/JPY: 6.66～7.05 (参照値)

過去1週間のトルコ・リラは続落。終値ベースでは緩やかな値動きとなっているが、時折、突発的なリラの急落が見られており、5月22日には史上初めて対ドル20.0を超えてリラ安が進んだ。その後、間もなく対ドル19.8の急落前の水準に戻している。対円では、ドル高・円安の影響もあり横ばいでの推移となった。こうしたリラの突発的な値動きの背景には、オフショア市場でのリラの流動性の薄さが要因として挙げられる。オフショア（海外）市場でのリラの流動性を示すオーバーナイト（翌日物）スワップ金利はたびたび急騰しており、おそらく意図的にオフショア市場へのリラの供給を絞る政策が取られているように思われる。オフショア市場へのリラの供給を絞ることで、海外投資家はリラの取引が困難となり、リラのショート（売り持ち）をしにくくなるためだ。それでもリラが突発的な売り圧力に見舞われるのは、トルコ市場からの資金流出圧力が根強いことを示唆しているだろう。大統領・議会選挙後の政策転換を期待してトルコ市場に投資していた資金が第一回投票の結果を受けて流出に転じている可能性が高い。また、外貨準備は4月末時点で前月比6.2%減の1,149億ドルとなっており、為替介入も引き続き実施されているものと見られる。

5月28日に控える大統領選挙の決選投票でのエルドアン大統領の優位は揺らがないようだ。5月19日には第一回投票の公式結果が発表され、エルドアン大統領が49.5%、クルチダルオール氏が44.9%の票を得たことが示されており、両者には明確に差がついている。さらには、5.2%の票を獲得したものの3位に終わったオアン氏は5月22日に正式にエルドアン氏支持を表明している。もともと国粋主義的な思想の傾向のあるオアン氏は、エルドアン氏との親和性が指摘されていたものの、これで「勝負有り」といったところであろう。同時に行われた議会選挙では、政権与党である公正発展党（AKP）を中心とする連立与党が過半数を獲得しており、現在の体制が選挙後も継続する公算が高い状況だ。

<過去1週間に発表された主要経済指標等>

月日	GMT	指標	期間	予想*	実績	前回
5/16	08:00	住宅販売(前年比)	4月		-35.6%	-21.4%
5/18	08:00	12か月後インフレ予想	5月		29.84%	31.02%
5/22	08:00	消費者信頼感指数	5月		91.1	87.5

(*予想はブルームバーグ社予想中心値)

<向こう1週間の見通し>

(5月23日～5月29日)

USD/TRY: 19.50～22.00

TRY/JPY: 6.00～7.10

来週1週間のトルコ・リラ相場は波乱含みの展開となろう。もちろん、週末に行われる決選投票でエルドアン大統領が勝利したとして、市場で織り込み済となっている可能性は高い。ただし、選挙前に実施されていたと見られるリラ安抑制策（オフショア市場へのリラの流動性供給の抑制や為替介入など）が選挙後に緩和されるとの見方は根強く、リラ売り圧力が強まる可能性は高い。

選挙直後に想定される金融市場の混乱が落ち着いた後は、今後の金融・財政政策の運営がどのような体制で行われるかが焦点となる。現地紙では市場の評価の高かったシムシェキ副首相らの経済閣僚への復帰が取り沙汰されている。中央銀行総裁ですら大統領の一存で交代することを考慮すれば、どのような人物が金融・財政政策のかじ取りを担うにせよ市場の警戒が解けることは難しいと見られるが、選挙後の政策運営に変化が見られるかを注視したい。なお、選挙直前の5月25日にはトルコ中央銀行の金融政策決定会合を控えるが、選挙前の金融市場の混乱を避けるべく現在8.50%の政策金利が据え置かれると見られる。

<向こう1週間に発表予定の主要経済指標等>

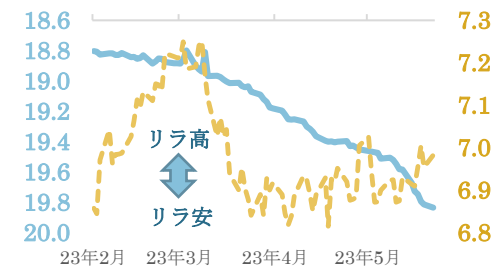
月日	GMT	指標	期間	予想*	実績	前回
5/25	12:00	政策金利発表		8.5%		8.5%
5/26	09:00	外国人観光客数(前年比)	4月			12.3%

(*予想はブルームバーグ社予想中心値)

トルコ・リラの推移

実線: 対ドルレート(左軸、逆目盛)

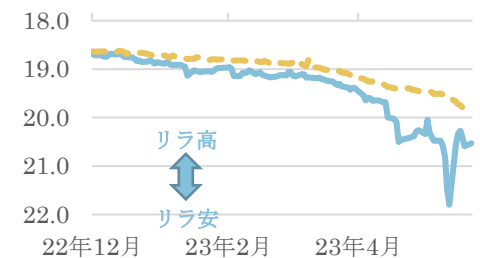
点線: 対円レート(右軸)



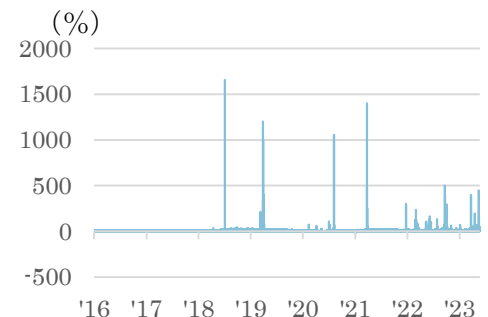
トルコ・リラの対ドル取引レート

点線: インターバンクレート

実線: グランド・バザールでの交換レート



トルコ・リラ オーバーナイトスワップ金利



(資料: ブルームバーグ)

<文責>

欧州資金部

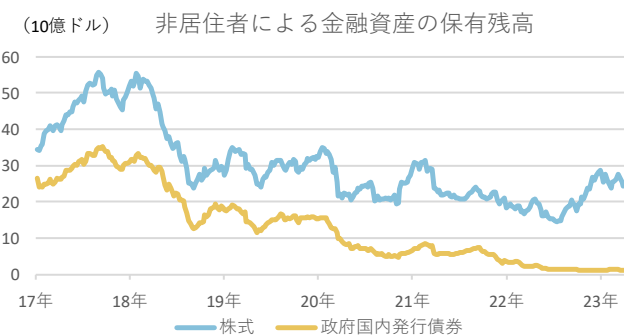
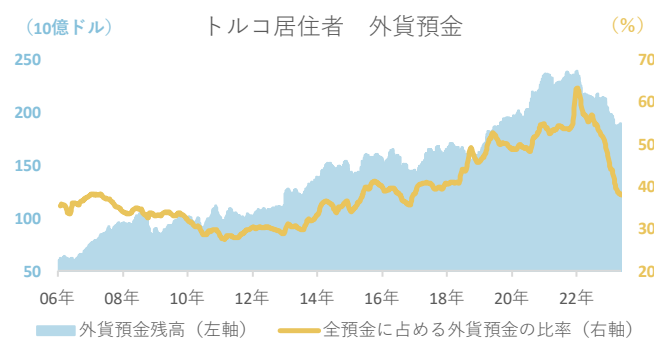
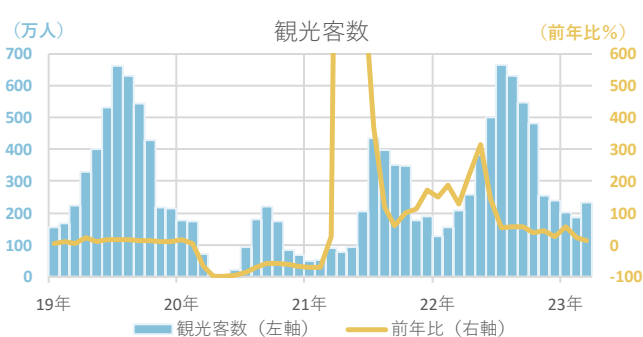
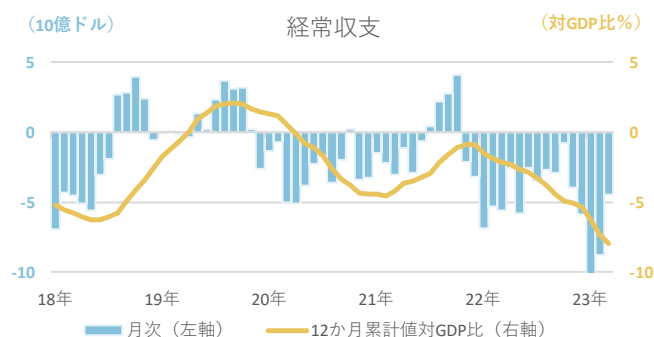
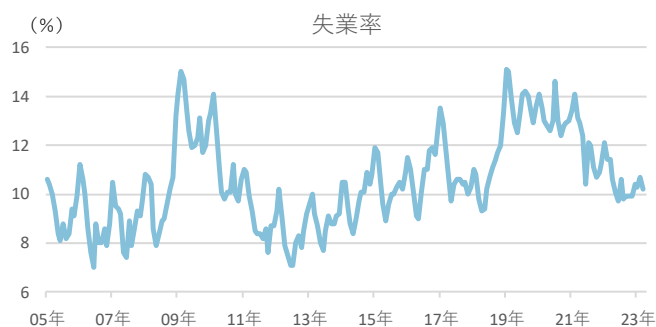
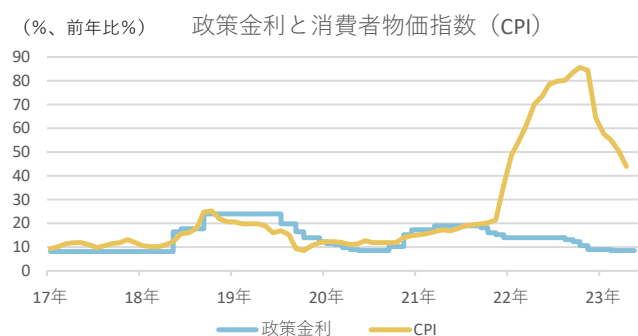
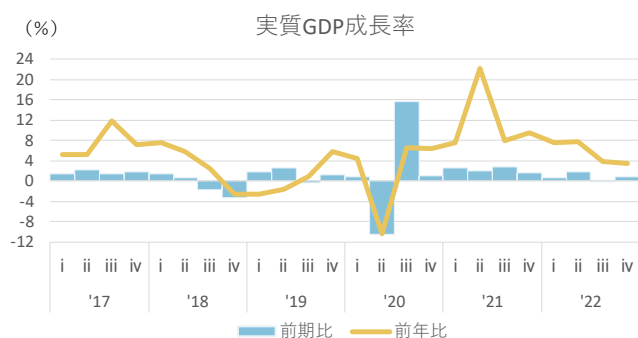
シニア為替ストラテジスト

中島 将行

masayuki.nakajima@mhcb.co.uk

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。

<主要経済指標の推移>



(資料：トルコ中央銀行/トルコ統計局/ブルームバーグ/みずほ銀行)

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。